



## 羅針盤 R6 (2024) - No.4



### 「学年・専科経営について」

学校は失敗するところ！教室は間違えるところ！授業は子供が主人公！  
子供の成長を教育活動のど真ん中におく！

One for all. All for one. One team. チーム玉川小

令和6年4月9日（火）

昭島市立玉川小学校

校長 小瀬 和彦

## I 教育目標

- 精いっぱい学習する子（知）  
自ら学び考え判断し、協働して問題解決を図る子
- 人のためにつくす子（心）  
自らのよさを見つめ、他者を尊重し、共によりよく生きようとする子
- すすんで体をきたえる子（体）  
自らすすんで心と体を鍛え、最後までやり遂げる子

## II キャッチフレーズ ～学校ってどんなところ？～

- 学校は失敗するところ！
  - 授業は子供が主人公！
  - 教室は間違えるところ！
  - 誰一人取り残さない！
- 子供の成長を教育活動のど真ん中におく！（判断基準）

## III 令和6年度における学年・専科経営について

～教育目標を達成するために～学校経営に学年・専科がチームとして参画する！

- 1 「I」、「II」を踏まえ、学年・専科として「大切にしたいこと!」、「目指す児童像」、「目標・ねらい」等を明確に立て、共通理解・実践を図る。
- 2 学年・専科主任は、リーダーシップを発揮し、意図的・計画的にチームとして学年会・専科会を設定し、協議・学び合い・協働解決の場とする。
  - 児童の成長に関すること（学習指導・生き方指導を学年・専科で共通実践する。）
  - 創造的授業（主体的・対話的で深い学び）に関すること
  - 学校経営・学年経営・学級経営に関すること
- 3 管理職と学年・専科メンバーとの相互の「報告」、「連絡」、「相談」の徹底を図る。
- 4 授業は、各教科等の単元導入前に、学年会・専科会で基本的な指導内容及び指導方法の共通理解を図り、「主体的・対話的で深い学び」を目指す。
- 5 各教科等の指導計画について、カリキュラム・マネジメント（指導計画のPDCAサイクル化）を行い、ゼロスタートでなく、指導書に準じて実施する。（改善した場合、単元後、朱書きで修正する）
- 6 「思考力・判断力・表現力等」を図る問題を管理職と相談しながら、学期に3回程度作成し、PDCAサイクル化を図る。
- 7 教室環境等は、清潔に保ち、整理整頓を図り、ユニバーサルデザイン（障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう教室等の環境をデザインする考え方）にする。